埼玉県建設業協会　会員企業における

「埼玉県の総合評価落札方式」に関する実態調査

報告書

平成22年3月

社団法人　埼玉県建設業協会

はじめに

公共工事の品質の確保と向上を目的とする「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受けて、埼玉県においても総合評価方式の導入が図られています。
総合評価方式の適用により、公共工事の施工に必要な技術的能力を有する者が施工することとなり、工事品質の確保や向上が図ることが期待されています。

埼玉県において、現在「総合評価方式活用ガイドライン　Ver4」が活用されておりますが当土木委員会では、現行のガイドラインに関する実態を把握するため会員にアンケート調査を実施し、その調査結果をとりまとめました。

調査の目的

今回の調査は、埼玉県の発注工事における「総合評価落札方式」において各協会員の実情を調査し、「総合評価落札方式」に対する業界と発注者の相互理解を深め、現在の問題点を解明し、より一層の改善を図り、現在の「総合評価方式活用ガイドラインＶｅｒ４」対する改善要望することを目的として実施しました。

結びに、調査にご協力いただきました協会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

土木専門委員会

目　　次

はじめに

調査の目的

1.「総合評価」に関する実態調査アンケート結果　・・・・・・・・・・・　3

2.「調査票」の記入にあたり

(1) アンケートに対する回答企業数　・・・・・・・・・・・　6

(2) 総合評価落札方式の参加実績　・・・・・・・・・・・　6

3.「必須項目」について

(1) 企業の技術能力について　・・・・・・・・・・・　6

(2) 企業の社会的貢献度について　・・・・・・・・・・・　7

(3) 配置予定技術者の技術能力について　・・・・・・・・・・・　8

(4) 施工管理の適切性・発注者が指定した課題について　・・・・・・・・・・・　10

(5) 技術提案を実現するための方法について　・・・・・・・・・・・　12

4.「選択項目」について

(1) 発注者が指定した課題への対応について　・・・・・・・・・・・　14

(2) 企業の技術力について　・・・・・・・・・・・　14

(3) 配置予定技術者の技術能力について　・・・・・・・・・・・　17

(4) 企業の地域精通度について　・・・・・・・・・・・　19

(5) 企業の社会的貢献度について　・・・・・・・・・・・　20

(6) その他について　・・・・・・・・・・・　22

(7) 企業倫理や信頼性（減点項目）について　・・・・・・・・・・・　24

(8) ガイドライン以外の項目について　・・・・・・・・・・・　28

5.　調査の対象：社団法人　埼玉県建設業協会会員企業　(150社)

6.　調査の方法：会員企業への郵送アンケート調査

7.　調査の時期：平成21年12月3日発送～平成22年12月25日までに回収

8.　回　収　率：有効回収数57社（38.0%）

9.　調査企画・実施：社団法人　埼玉建建設業協会　土木委員会（土木専門委員会）

10. 調査集計・分析：社団法人　埼玉建建設業協会　土木委員会（土木専門委員会）

１．「総合評価」に関する実態調査アンケート結果

調査結果の全体的意見として現行のガイドラインに対する改善を求める割合は20%となっており比較的少ない結果となった。

調査区分において、必須項目の「企業の技術能力（工事成績評定）」「配置技術者の技術能力」「施工管理の適切性（工程管理）」が30%の改善を求めており、選択項目においては、「企業の社会貢献度（除雪契約実績）」「その他（難工事実績）」が30%の改善を求めている。また、必須項目の「企業の技術能力（施工実績）」「企業の社会的貢献度」が25%の割合であり、その他の項目は15%程度の割合であった。

以上のようなアンケートの中で、発注者：埼玉県に対する要望事項は、「実績期間の延長」「評価点のの改善」「評価点の公開」等に関して改善を求める意見が寄せられた。

２．「調査票」の記入にあたり

(1) アンケートに対する回答企業数

1) 調査依頼は企業ﾗﾝｸ別@・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ各30社、合計150社を対象に実施し57社（38%）からの回答であった。

(2) 「総合評価落札方式」の工事案件の参加実績の有り・無しに対す回答

1) 回答57社において「総合評価」落札方式の参加実績は56社（98.2%）であり、回答企業は、ほぼ参加実績を有する企業からの意見となっている。

３．「必須評価項目」について

(1) 企業の技術能力について

1) 工事成績評定で改善を求める内容は、「評価基準・評価点の改善」が10件、次に「評定期間の延長」を求める内容が5件となっている。

2) 施工実績で改善を求める内容は、「近接の範囲」が4件、「実績期間の延長」が2件、「評価・配点の見直し」が2件、「評価項目から除外」が2件となっている。

(2) 企業の社会的貢献度について

1) 災害防止活動で改善を求める内容は、「評価対象基準の改善」が6件、「評価点の改善」が4件となっている。

2) Co2削減対策で改善を求める内容は、「IS01400との改善」が10件、「評価点の重み」が1件となっている。

(3) 配置予定技術者の技術能力について

1) 工事成績評定で改善を求める内容は、「評価基準・評価点の改善」が7件、次に「評定期間の延長」が4件となっている。

2) 施工実績評定で改善を求める内容は、「評価基準・経験年数・評価点の改善」が4件、「担当技術者の適用」が3件となっている。

3) 優秀技術者表彰で改善を求める内容は、「評価点の改善」が6件、「期間の延長」が4件、「評価実績者・評価機関の緩和拡大」が4件となっている。

(4) 施工管理の適切性・発注者が指定した課題について

1) 工程管理の適切性で改善を求める内容は、「実施工程との整合性がとれない」が2件となっている。

2) 施工管理の適切性・発注者が指定した課題で改善を求める共通内容は、「配点の改善」が9件「配点結果の公開」が3件、「技術提案数の制限」が2件、となっている。

(5) 技術提案を実現するための方法について

1) 技術提案で改善を求める内容は、「配点結果の公開」が2件、「配点の改善」が2件、「適切な評価」が1件、「不履行の場合・用紙枚数の制限での評価」が各1件となっている。

４．「選択評価項目」について

(1) 発注者が指定した課題への対応について

1) 発注者が指定した課題への対応の的確性で改善を求める内容は、「配点の改善」が6件、「配点結果の公開・現場に合った課題」が2件となっている。

(2) 企業の技術力について

1) VE提案で改善を求める内容は、「採用実績期間の延長」が4件、「評価項目から除外」が3件。

2) 新製品・新技術紹介制度の登録で改善を求める内容は、「評価項目から除外」が3件、「評価基準・配点の変更」が1件となっている。

3) 優秀工事表彰で改善を求める内容は、「期間の延長」が4件、「必須項目・対象範囲・配点の改善」が各1件となっている。

4) ISO取得状況で改善を求める内容は「評価項目から除外」が5件、「配点の改善」が4件、「必須項目としての扱いにしてほしい」が1件となっている。

(3) 配置予定技術者の技術能力について
1) 技術者の専門技術力（ヒヤリング）で改善を求める内容は、「ヒヤリングの必要性」が1件となっている。
2) 技術者の対応能力（ヒヤリング）で改善を求める内容は、「配点の見直し」が1件となっている。
3) 保有する資格で改善を希望する内容は、「専門資格（コンクリート技士・1級舗装施工管理技術者）を加点採用」が 4件、「評価項目としての必要性」が1件となっている。

(4) 企業の地域精通度について
1) 地理的条件で改善を求める内容は、「配点の改善」が8件、「必須項目としての扱い・公平性・項目採用の統一」が各1件となっている。
2) 完成後のケアで改善を求める内容は、「証明方法の明確化」が4件、「評価項目から除外」が4件、となっている。

(5) 企業の社会的貢献度について
1) 公共施設管理へのボランティア活動の実施で改善を求める内容は、「対象範囲の拡大」が2件、「評価項目から除外」が2件、「配点・情報公開・活動範囲の改善」が各1件となっている。
2) 除雪契約実績で改善を求める内容は、「実績範囲の拡大が」5件、「評価項目から除外」が5件、「配点の改善」が3件、「協力会社実績」が2件となっている。
3) 障害者雇用で改善を求める内容は、「障害者雇用は難しい」が2件、「法定率・認定証明」が各1件となっている。

(6) その他について
1) 県内下請の選定で改善を求める内容は、「事務所・市町村管内などの制限削除」「下請負人の表彰加点」が各1件となっている。
2) 県産資材選定で改善を求める内容は、「扱う業者が少ない場合は除外」が4件「不要と思う」が2件。
3) 契約実績比率で改善を求める内容は、「不要と思う」が4件、「手持工事・技術者数の考慮・配点」の改善が各2件「必須項目としての扱いにしてほしい」が1件となっている。
4) 難工事完了実績で改善を求める内容は、「実績期間の延長」が5件、「配点の改善」が3件、「本数により加点・工事指定・不要と思う」が各1件、「工事規模・農林工事・同種工事等に限定してほしい」が各1件となっている。

(7) 企業倫理や信頼性（減点項目）について
1) 入札参加（指名）停止措置で改善を求める内容は、「重複措置となるため除外してほしい」が9件となっている。
2) 不正軽油の使用で改善を求める内容は、「管理が出来ないため除外してほしいが」9件となっている。
3) ディーゼル不適合車の使用で改善を求める内容は、「もっと厳しくともよい」が6件となっている。
4) 過積載で改善を求める内容は、「より厳しくともよい」が6件となっている。
5) 総合評価の不履行で改善を求める内容は、「違約金の扱いで十分であり、減点扱いは厳しい」が6件となっている。
6) 指名強要行為の使用で改善を求める内容は、「より厳しくともよい」が6件となっている。
7) 死亡事故で改善を求める内容は、「減点の見直し」が8件となっている。

(8) ガイドライン以外の項目について
1) 失格基準で改善を求める内容は、「現行の①②のどちらかに該当した場合は、失格とするが」10件、「失格基準の削除をもとめる意見」が5件となっている。
2) 落札者の決定で改善を求める内容は、「調査基準価格の廃止」が4件、「基準価格を下回った場合の扱いを求める内容」が8件となっている。
3) 対象実施案件数で改善を求める内容は、「現状程度で良い」68%「増やすべき」32.1%となっている。また、「大型物件（5億円以上）は実施すべき」16%となっている。
4) 現行のガイドライン以外で追加、改善を求める内容は、「評価点の公表」「落札者決定までの時間短縮」「対象工事の情報不足」「調査基準価格の廃止」「提出書類の簡素化」「ガイドラインの改訂に関する公表・執行期間を求める」などの内容となっている。

5．まとめ

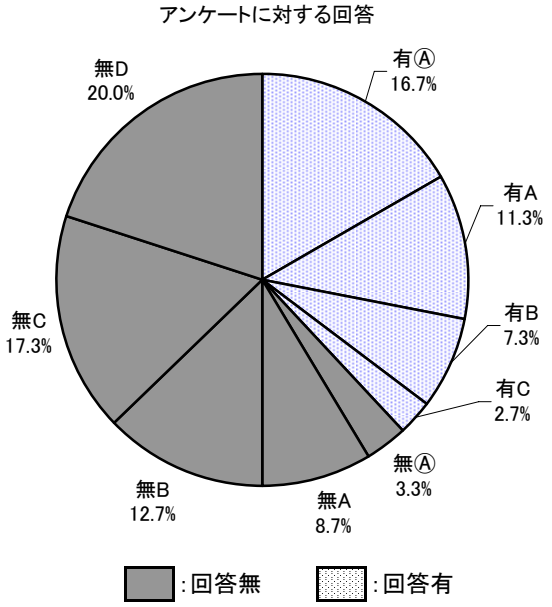
今回の調査結果では現行のガイドラインに対する改善を求める割合が約20%と低い割合であり、約80%が現行のガイドラインに特に問題はないとの見解となった。
改善希望率が低い割合においても、幾つかの評価項目（「実績期間の延長」「評価点の改善」「評価点の公開」）においては改善を求める要望が見受けられます。
今後、埼玉県の総合評価落札方式におけるガイドラインにつては改訂を行う動向でもあり、今回の調査結果を踏まえ改善要望等の取組みを行いたいと考えています。
会員企業の皆様方には引き続きご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

実態調査アンケート結果

1.「調査表」の記入にあたり

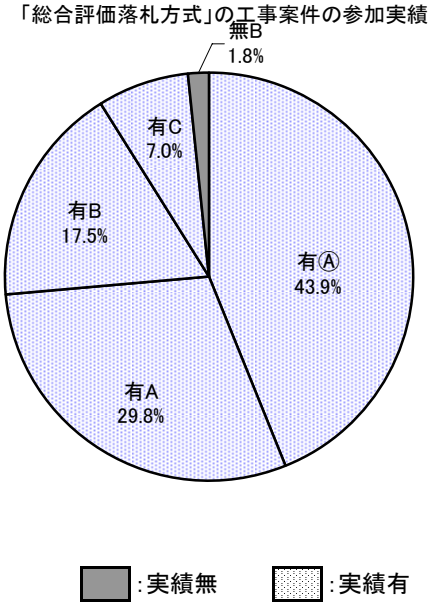
(1)アンケートに対する回答企業数
配布企業数150社　回答企業数57社

回答率38%



(2)「総合評価落札方式」の工事案件の参加実績
回答企業57社　参加実績企業数56社

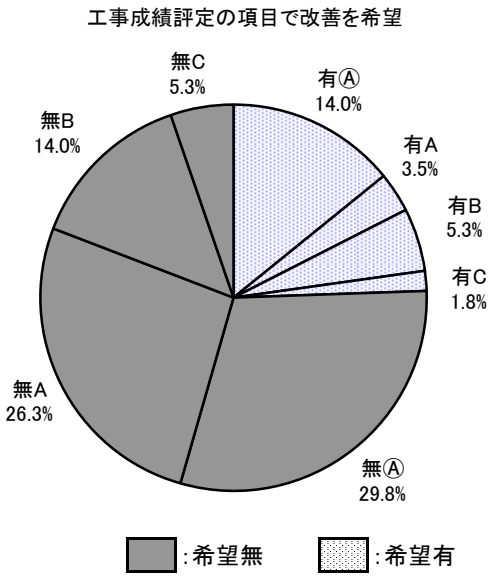
参加実績率98.2%



2.「必須評価項目」について

(1)企業の技術能力について
工事成績評定の項目で改善を希望

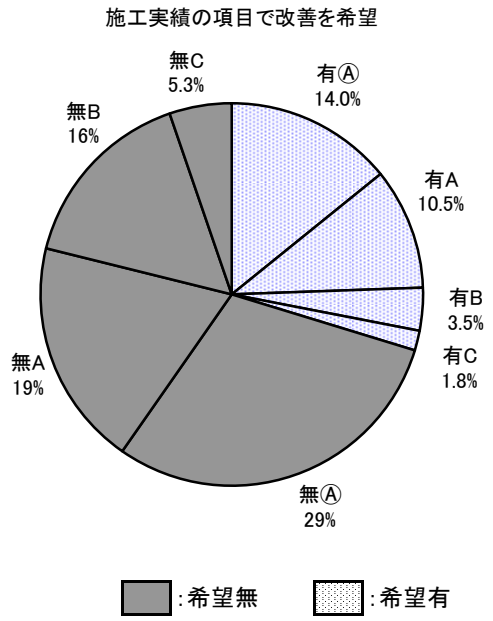
希望率24.6%



(問－1)企業の技術能力について	企業ランク				
工事成績評定の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
評価基準を下げ、配点を変えてほしい	1	2	2		5
過去2ヶ年度間の平均点を過去3ヶ年度間の平均点としてほしい	4				4
工事成績評定の配点を上げてほしい	1	2			3
単なる平均点でなく、該当工事数(分母数)も考慮してほしい	2				2
過去2ヶ年度間を公告日より過去2ヶ年の平均点としてほしい	1				1

施工実績の項目で改善を希望

希望率29．8%

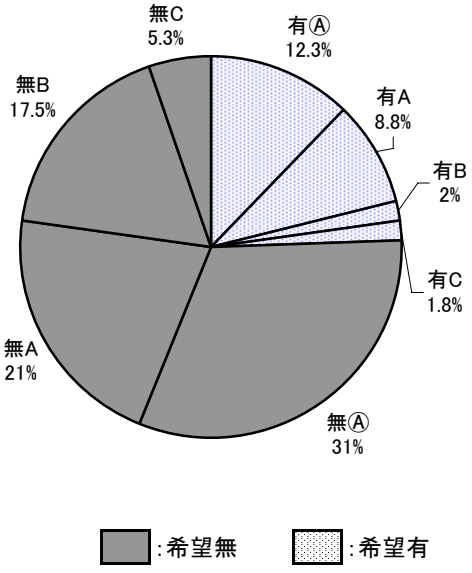


(問－1)企業の技術能力について	企業ランク				
施工実績の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
近隣の範囲は全ての工事で県内全域としてほしい	3				3
過去15年間の施工実績を過去20年～無制限としてほしい	1	1			2
施工実績を評価項目としないでほしい		1	1		2
近隣の範囲を工事の都度変えないでほしい	1				1
施工実績の配点を上げてほしい	1				1
評価基準と配点を見直してほしい	1				1

(2)企業の社会的貢献度について

災害防止活動の実績の項目で改善を希望

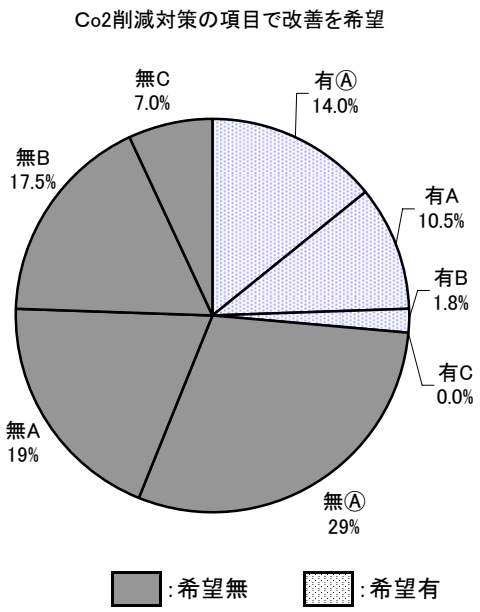
希望率24．6%



(問－2)企業の社会的貢献度について	企業ランク				
災害防止活動の実績の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
評価対象基準(建築関連・土木関連等)の改善を図ってほしい	5	1			6
採点(重み)の差別化を一層明確化してほしい	2	2			4

Co2削減対策の項目で改善を希望

希望率26．3%

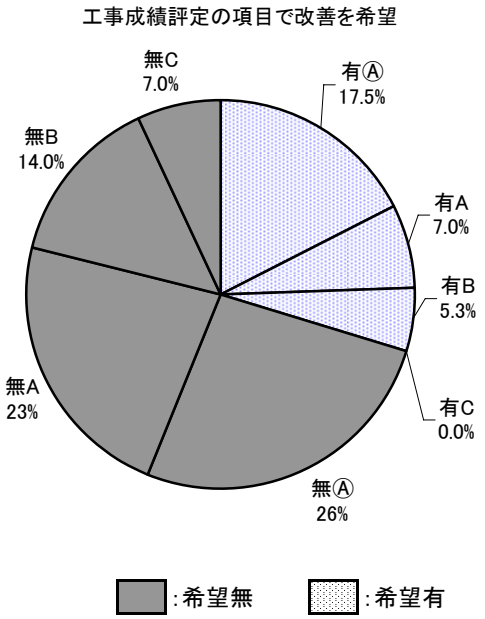


(問-2)企業の社会的貢献度について	企業ランク				
Co2削減対策の項目で項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
CO2 削減対策でｴｺｱｯﾌﾟとISO1400 の評価にしてほしい	5	4	1		10
ｴｺｱｯﾌﾟ認証制度取得での評価点に一層の重みをつけてほしい	1				1

(3)配置予定技術者の技術能力について

工事成績評定の項目で改善を希望

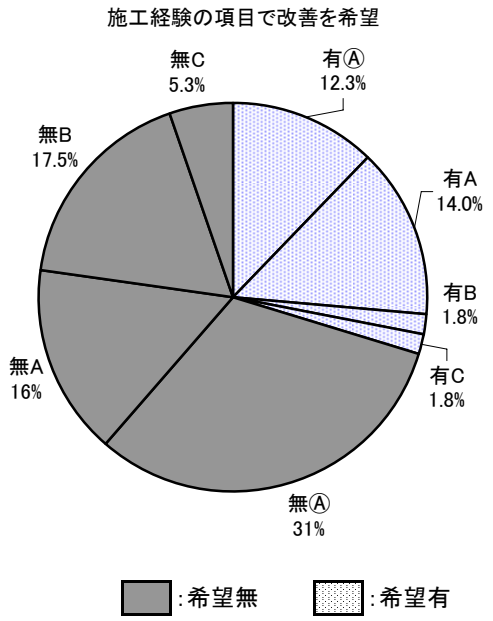
希望率29．8%



(問－3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
工事成績評定の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
評価基準、配点、得点の見直しをしてほしい	4	1	2		7
過去年度期間の延長をしてほしい	3	1			4

施工経験の項目で改善を希望

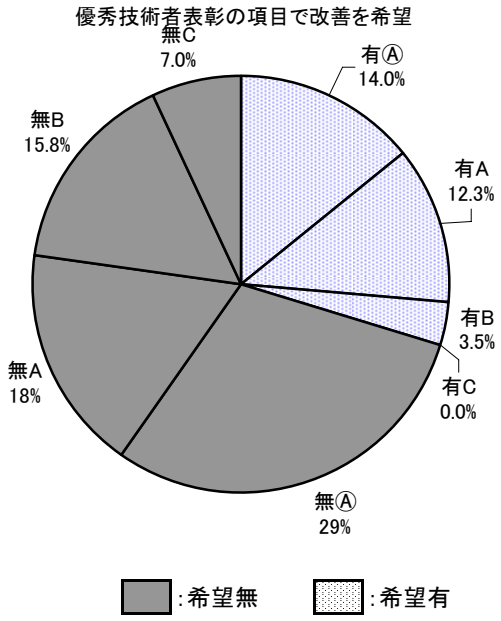
希望率29．8%



(問－3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
施工経験の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
評価基準の経験年数と配点の見直しをしてほしい	2	2			4
担当技術者として従事した工事の適用をしてほしい	2	1			3

優秀技術者表彰の項目で改善を希望

希望率29．8%

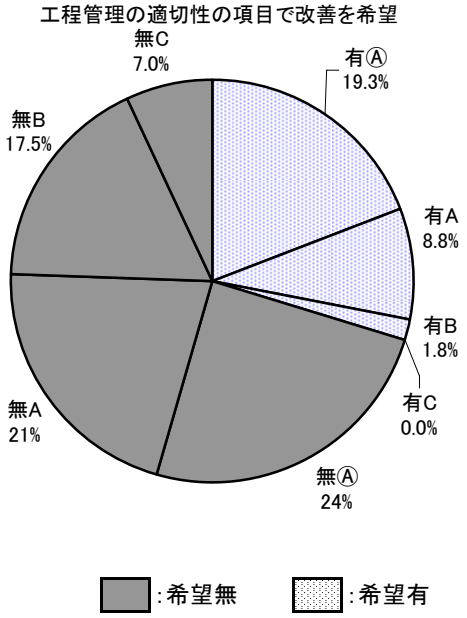


(問－3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
優秀技術者表彰の項目で改善を求める内容	@	A	B	C	計
評価得点の見直しをしてほしい	2	3	1		6
過去年度期間の延長をしてほしい		3	1		4
従事した技術者も個人の表彰実績にしてほしい	3				3
他の発注機関の表彰も評価基準にしてほしい	1				1

(4)施工管理の適切性・発注者が指定した課題について

工程管理の適切性の項目で改善を希望

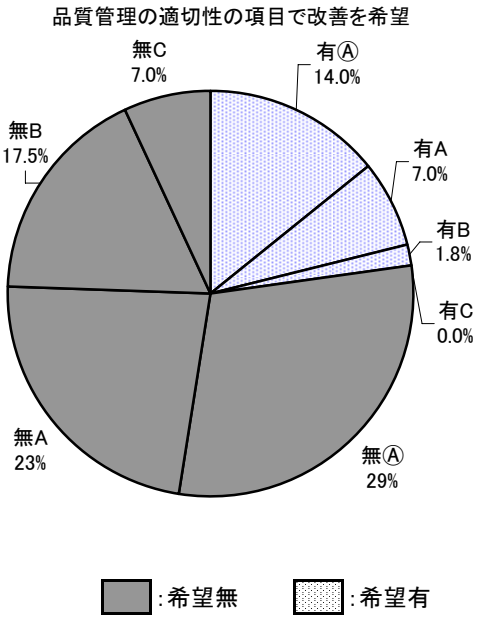
希望率29．8%



(問－4)施工管理の適切性、発注者が指定した課題について	企業ランク				
工程管理の適切性の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
大型、難易度の高い工事で設問される事がおおい。また工期が実施工程と整合性の無い事例が散見されるので、この項目は無くしてほしい。	2				2

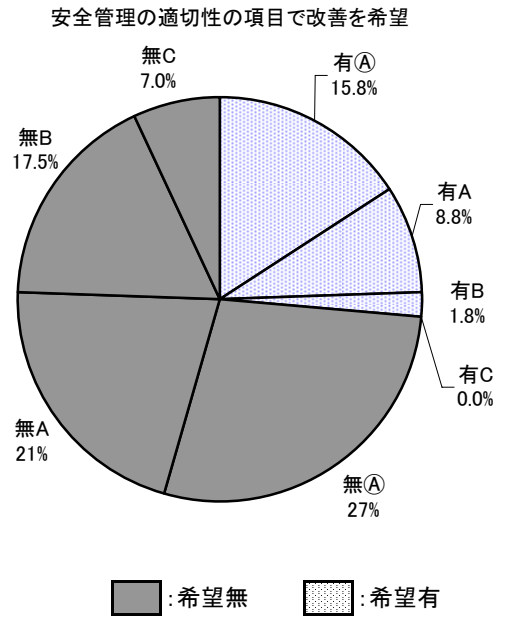
品質管理の適切性の項目で改善を希望

希望率22．8%



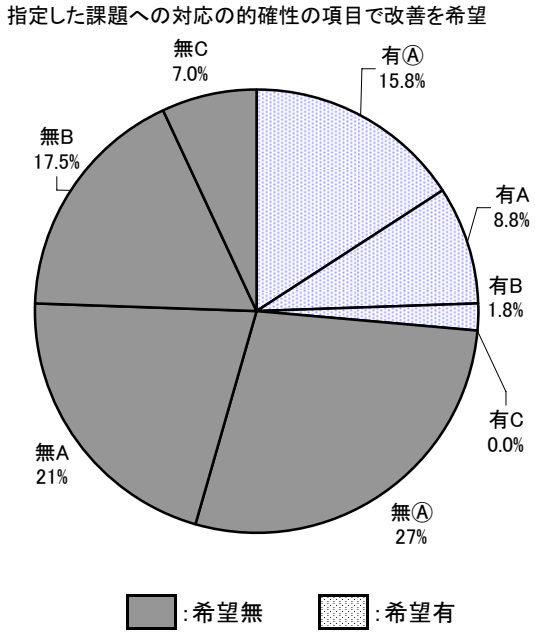
安全管理の適切性の項目で改善を希望

希望率26．3%



指定した課題への対応の的確性の項目で改善を希望

希望率26．3%

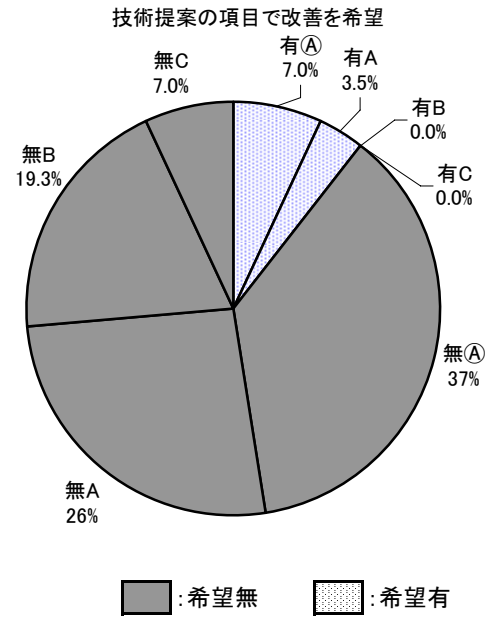


工程・品質・安全・指定した課題の共通項目で改善を希望する内容

(問－4)施工管理の適切性、発注者が指定した課題について	企業ランク				
共通項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
各項目の配点が3か0ではおかしい。何段階かにわけてほしい(3、2、1、0等)	2	2	1		5
今後のために、各項目点数および根拠を公開してほしい	2	1			3
各項目毎に最大5提案(具体的)などとしていただくと、評価と履行確認が簡素化できると思う	1	1			2
課題の優劣より、基礎点(実績等)の高い企業が有利なので、配点を高くして逆転可能にしてほしい	2				2
評価者によって、採点に差が生じる。個人の感情はいらぬ仕組みが必要	1				1
項目を「発注者が指定した課題への対応」に限定し、配点を高くしてほしい	1				1
A4、2枚程度の文章で評価するのは現実的ではない、廃止してほしい	1				1

(5)技術提案を実現するための方法について
技術提案の項目で改善を希望

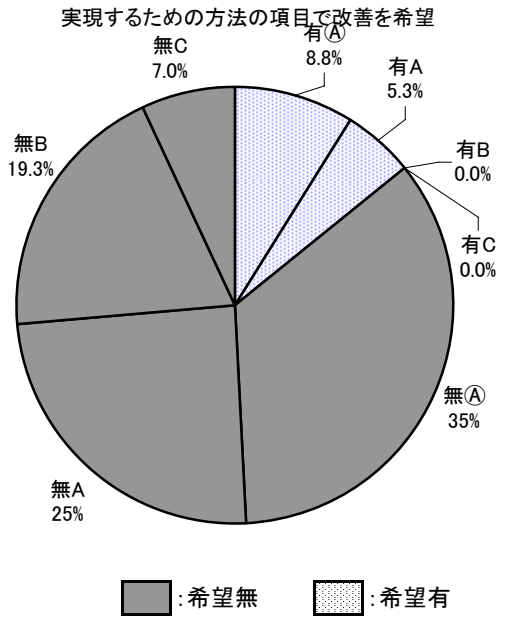
希望率10．5%



(問－5)技術提案を実現するための方法について	企業ランク				
改善を求める内容(内容)	Ⓐ	A	B	C	計
各項目点数配分を公開してほしい	1	1			2
配点を高くしてほしい	2				2
配点を低くしてほしい	1				1
提案が適切な評価されるか疑問です	1				1
不履行な場合はマイナス値が必要と思う	1				1
A4版2枚程度の文章で評価するのは廃止してほしい	1				1

実現するための方法の項目で改善を希望する企業

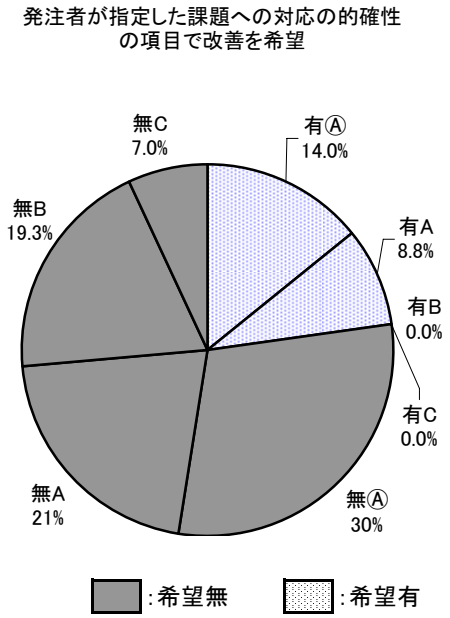
希望率14.0%



3.「選択評価項目」について

(1)発注者が指定した課題への対応について
課題への対応の的確性の項目で改善を希望

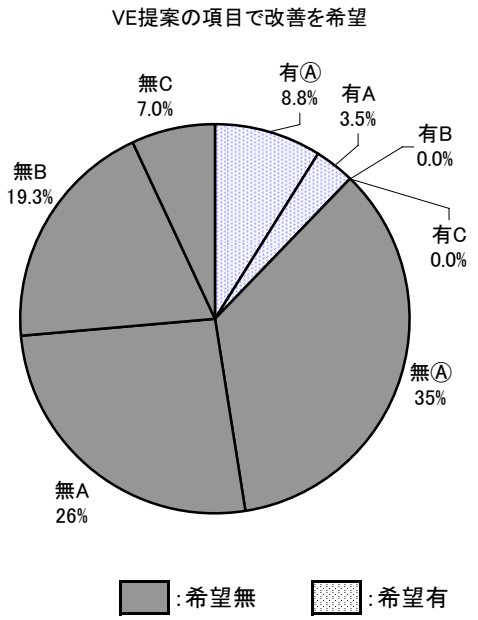
希望率22.8%



(問－1)発注者が指定した課題への対応について	企業ランク				
課題への対応の的確性の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
配点を高くしてほしい	2	1			3
各項目点数配分を公開してほしい	2				2
配点を3段階を4段階にしてほしい	2				2
現場条件にあった課題にしてほしい	1	1			2
評価基準が極端だとおもいます		1	1		2
評価項目を少なく簡素化してほしい	1				1
中間の2点、1点も採用してほしい					

(2)企業の技術力について
VE提案の項目で改善を希望

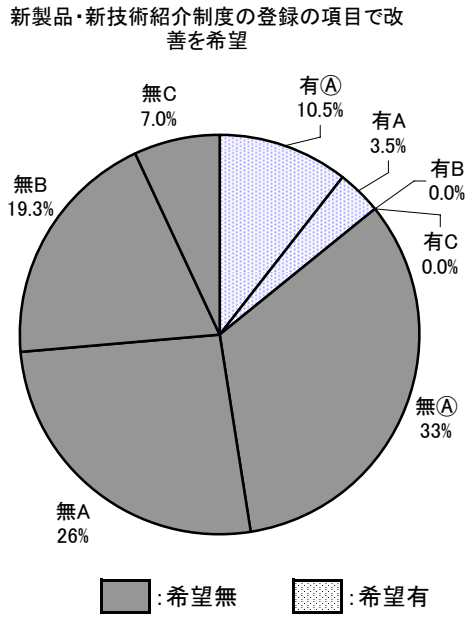
希望率12.3%



(問－2)企業の技術能力について	企業ランク				
VE提案の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
採用実績を過去2年間から3～10年ぐらいにしてほしい	3	1			4
VE提案は県内業者にはなじまないので評価項目としないでほしい	2	1			3

新製品・新技術紹介制度の登録の項目で改善を希望

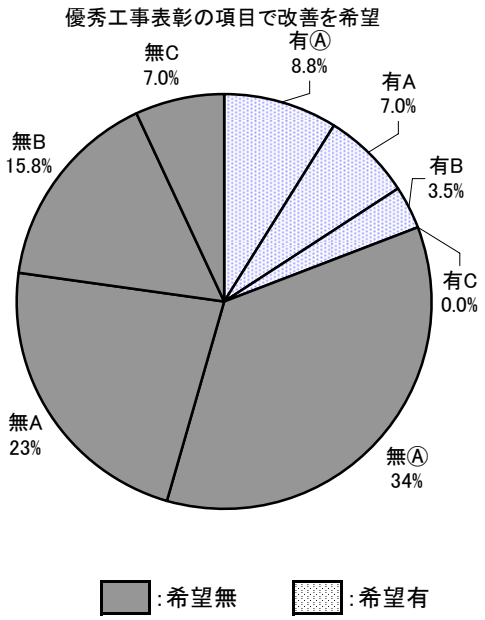
希望率14．0%



(問－2)企業の技術能力について	企業ランク				
新製品・新技術紹介制度の登録の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
新製品・新技術紹介制度等の登録は評価項目としないでほしい	2	1			3
評価基準と配点を内容により変えてほしい	1				1
新製品・新技術紹介制度等の登録を多くしてほしい(審査が厳しい)	1				1

優秀工事表彰の項目で改善を希望

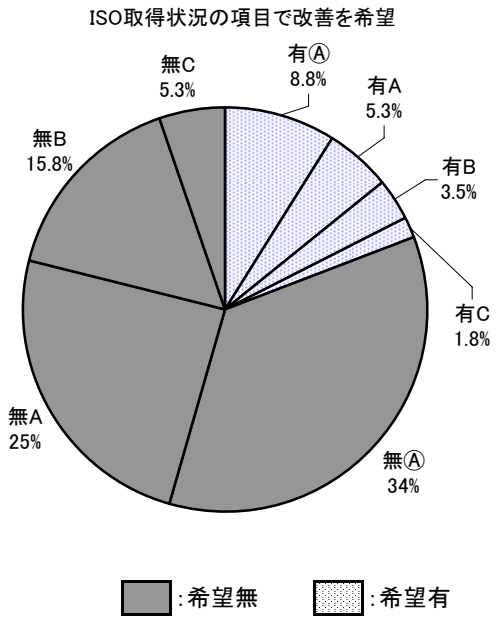
希望率19．3%



(問－2)企業の技術能力について	企業ランク				
優秀工事表彰の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
過去3ヶ年度間でなく5～10ヶ年度間に延長してほしい	1	2	1		4
必須評価項目にしてほしい	1				1
発注事務所のみの表彰を対象としてほしい	1				1
配点を上げてほしい	1				1

ISO取得状況の項目で改善を希望

希望率19．3%

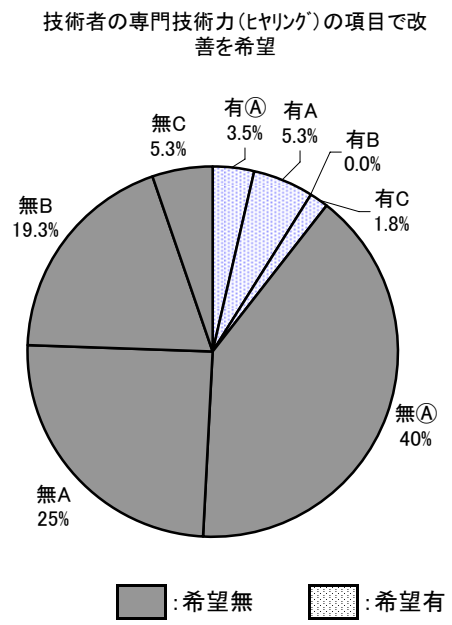


(問-2)企業の技術力について	企業ランク				
ISO取得状況の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
ISOは評価項目からはずしてほしい	2	1	1		4
ISO取得状況の配点を上げてほしい		2	1		3
ISO14001の配点をISO9001と同様に1点としてほしい	1				1
埼玉県エコアップ認証制度の項目があるので1SO14001を外してほしい	1				1
ISO取得状況は必須評価項目としてほしい		1			1

(3)配置予定技術者の技術能力について

技術者の専門技術力(ﾋﾔﾘﾝｸﾞ)の項目で改善を希望

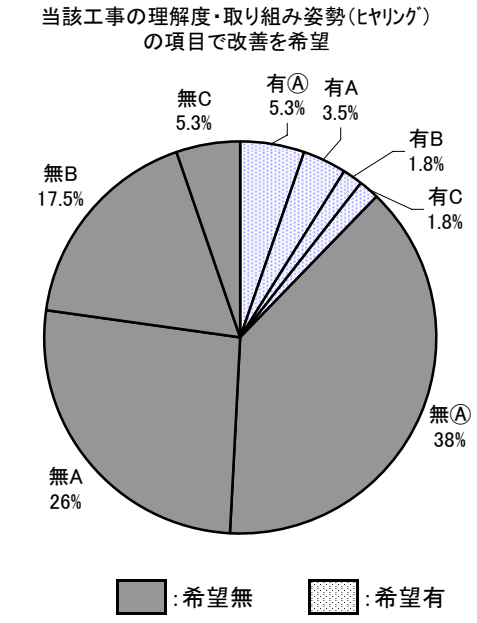
希望率10．5%



(問-3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
技術者の専門技術力(ﾋﾔﾘﾝｸﾞ)の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
ヒヤリングの必要性	1				1

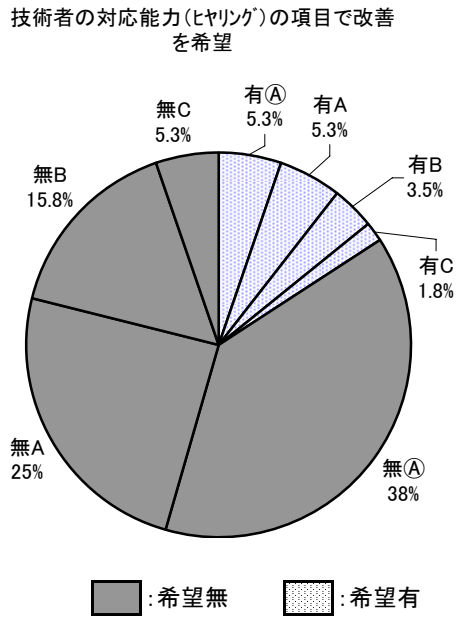
当該工事の理解度・取組み姿勢(ﾋﾔﾘﾝｸﾞ)の項目で改善を希望

希望率12．3%



技術者の対応能力(ﾋﾔﾘﾝｸﾞ)の項目で改善を希望

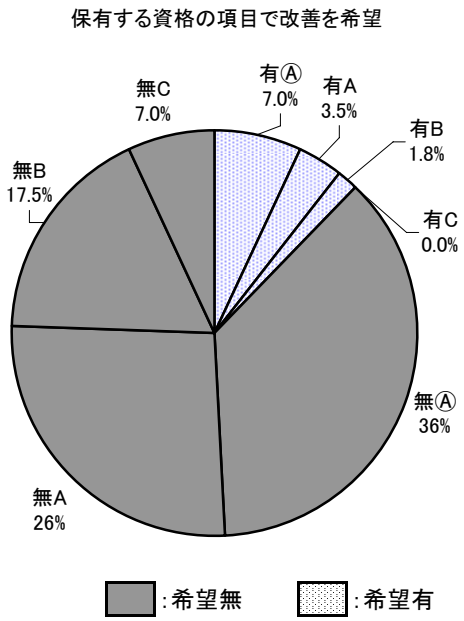
希望率15．8%



(問-3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
技術者の対応能力(ﾋﾔﾘﾝｸﾞ)の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
配点の見直しをしてほしい		3	2		5

保有する資格の項目で改善を希望

希望率12．3%

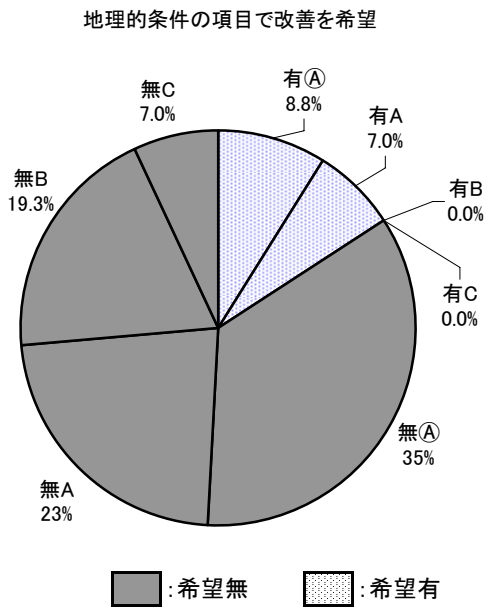


(問-3)配置予定技術者の技術能力について	企業ランク				
保有する資格の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
コンクリート技士、一級舗装管理技術者などを評価項目に入れてほしい	3	1			4
この評価項目の必要性	1				1

(4)企業の地域精通度について

地理的条件の項目で改善を希望

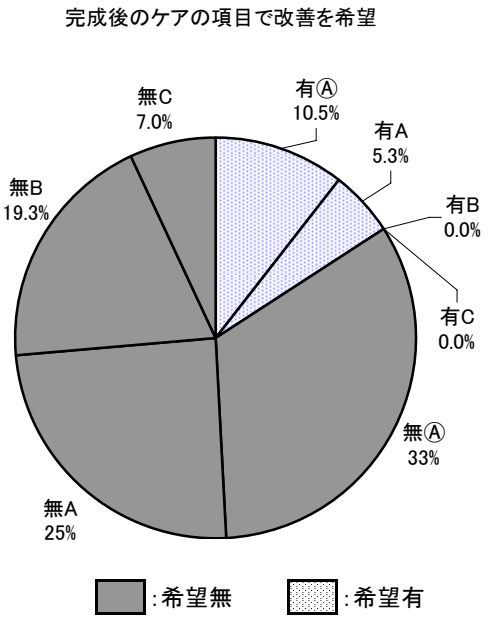
希望率15．8%



(問－4)企業の地域精通度について	企業ランク				
地理的条件の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
配点を多くしてほしい	4	4			8
必須にしてほしい	1				1
公平性。透明性がほしい		1			1
事務所間で項目採用にばらつきがある統一してほしい	1				1

完成後のケアの項目で改善を希望

希望率15．8%

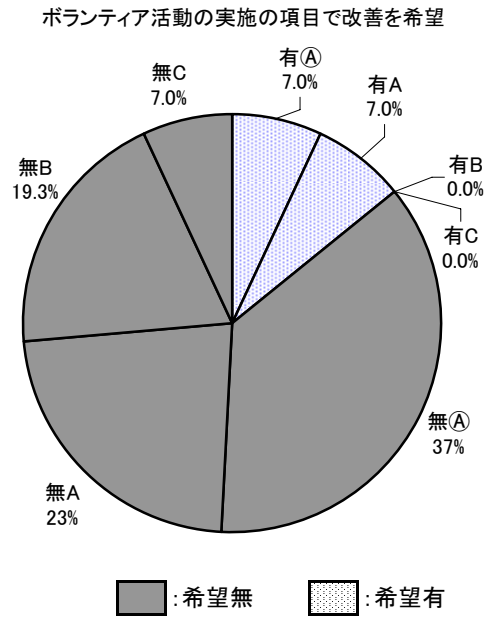


(問-4)企業の地域精通度について	企業ランク				
完成後のケアの項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
証明方法を明確にしてほしい	3	1			4
廃止しすべき	3	1			4
ケアの出来ない案件もある(下水道)	1				1

(5)企業の社会的貢献度について

公共施設管理へのボランティア活動の実施の項目で改善を希望

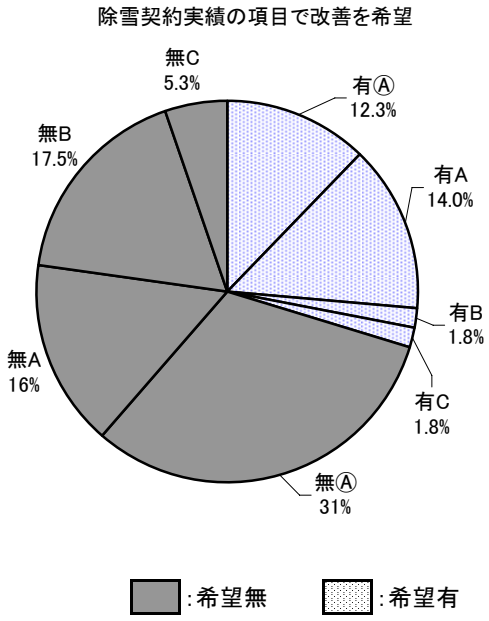
希望率14．0%



(問-5)企業の社会的貢献度について	企業ランク				
公共施設管理へのボランティア活動の実施の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
対象範囲を広げてほしい （さいたま市道・ロードサポート）	1	1			2
廃止すべき （該当工事の品質管理が社会的貢献度と関係が疑問）	2				2
もっと配点を多くしてほしい		1			1
ボランティア活動を情報公開してほしい	1				1
ボランティア活動の範囲を絞ってほしい	1				1

除雪契約実績の項目で改善を希望

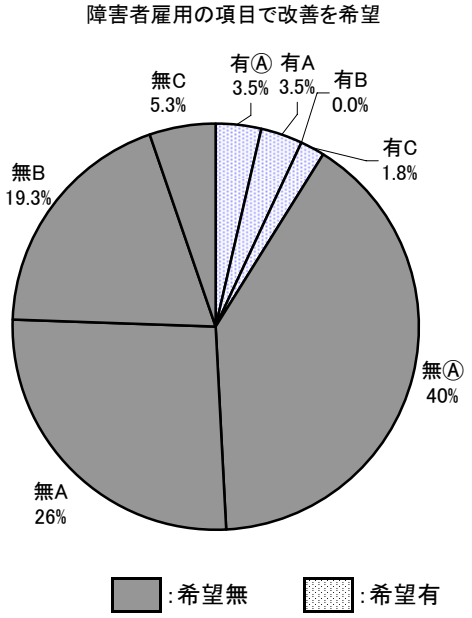
希望率29．8%



(問-5)企業の社会的貢献度について	企業ランク				
除雪契約実績の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
市町村の除雪作業も評価すべき	3	1	1		5
廃止すべき	3	2			5
もっと配点・採用を多くしてほしい	1	2			3
契約者だけでなく協力会社も認めてほしい		2			2

障害者雇用の項目で改善を希望する企業

希望率8．8％

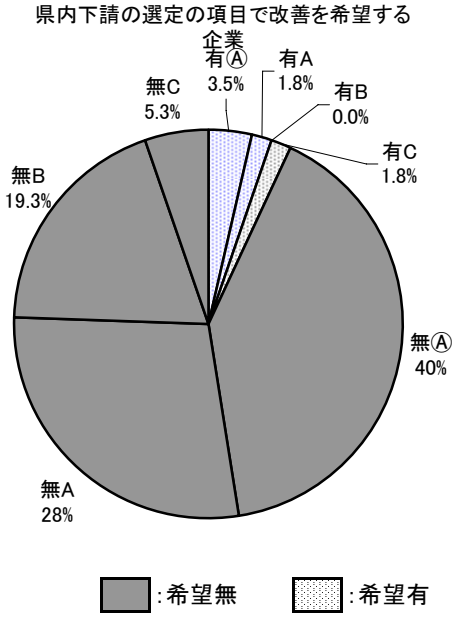


(問-5)企業の社会的貢献度について	企業ランク				
障害者雇用の項目で改善を改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
障害者雇用は現状では難しい	1	1			2
障害者雇用の法定率を雇用している場合も評価してほしい	1				1
認定を受けない障害者も評価してほしい		1			1

(6)その他について

県内下請の選定の項目で改善を希望

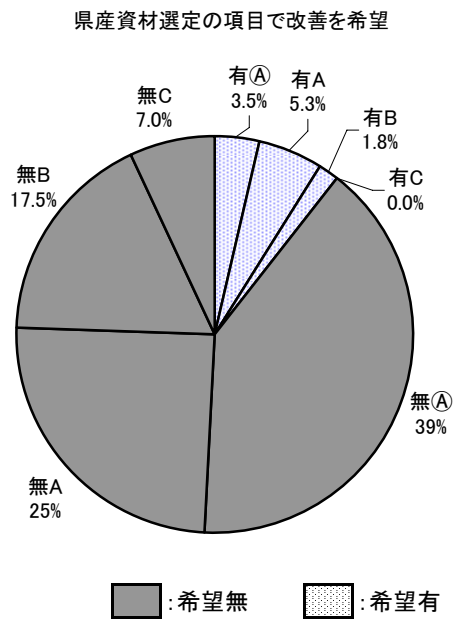
希望率7．0%



(問-6)その他について	企業ランク				
県内下請の選定の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
事務所管内企業、市町村内企業からの選定を削除してほしい	1				1
下請負人に表彰がある場合は加点してほしい	1				1

県産資材選定の項目で改善を希望

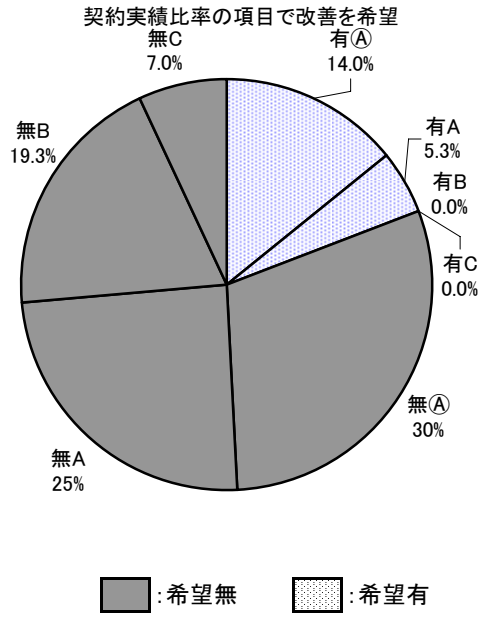
希望率10．5%



(問-6)その他について	企業ランク				
県産資材選定の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
県内に扱う業者が少ない場合は選定しないでほしい	2	2			4
不要と思う	1		1		2

契約実績比率の項目で改善を希望

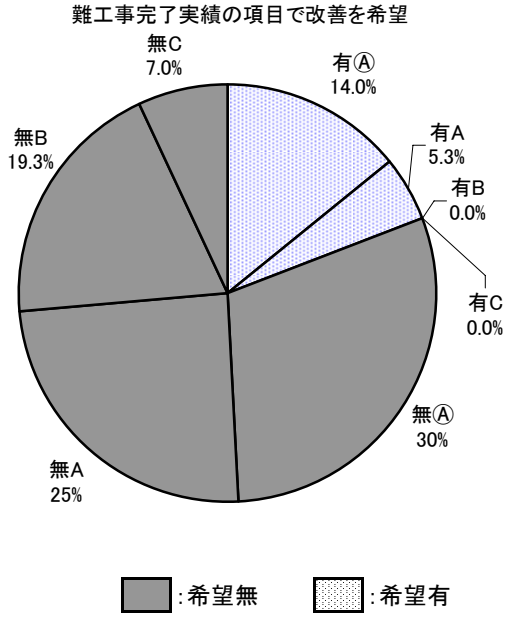
希望率19．3％



(問-6)その他について	企業ランク				
契約実績比率の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
不要と思う	4				4
契約実績比率に手持工事件数や技術者の人数を考慮してほしい	1	1			2
評価基準に0.5未満を加え配点を増やしてほしい	1	1			2
県として必要な項目と判断するならば、必須評価項目にすべきである	1				1

難工事完了実績の項目で改善を希望

希望率29．8％

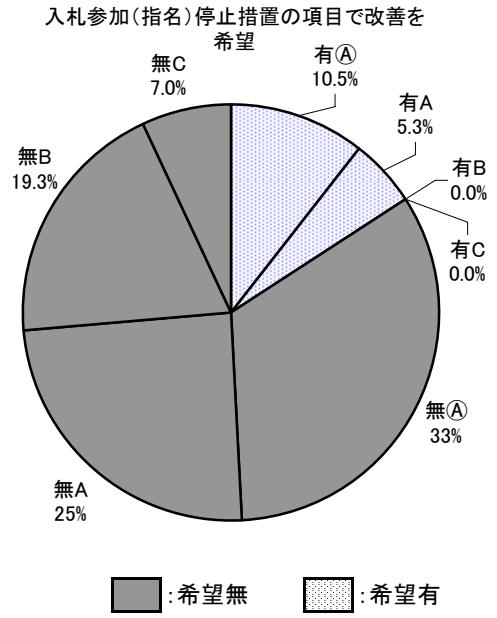


(問-6)その他について	企業ランク				
難工事完了実績の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
実績期間を現行期間より延長してほしい(2～10年)	4	1			5
配点を増やしてほしい	1	1	1		3
実績本数により加算をしてほしい	1				1
「難工事指定」をするより、適正な金額で発注してほしい	1				1
不要と思う	1				1
入札執行課　発注工事だけに選定してほしい	1				1
農林部発注の工事は、全て「難工事指定」としてほしい		1			1
同種工事だけにしてほしい	1				1

(7)企業倫理や信頼性(減点項目)について

入札参加(指名)停止措置の項目で改善を希望

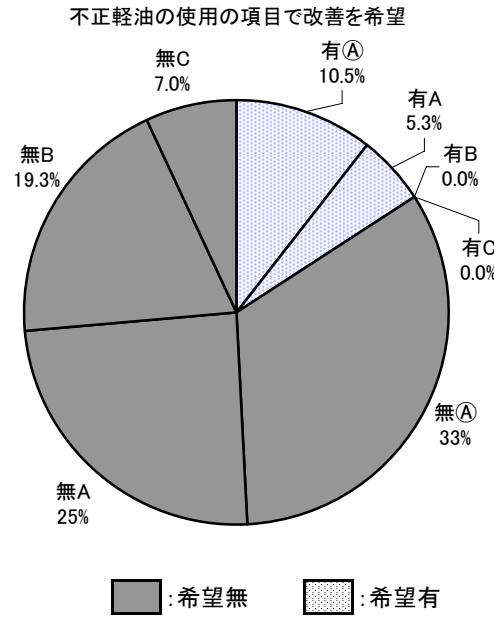
希望率15．8%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
入札参加(指名)停止措置の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
入札参加(指名)停止措置について、指名停止という形で罰を受けており、あえてこの項目に付ける必要は無い	6	3			9
重複措置となる為無いほうが良い					

不正軽油の使用の項目で改善を希望

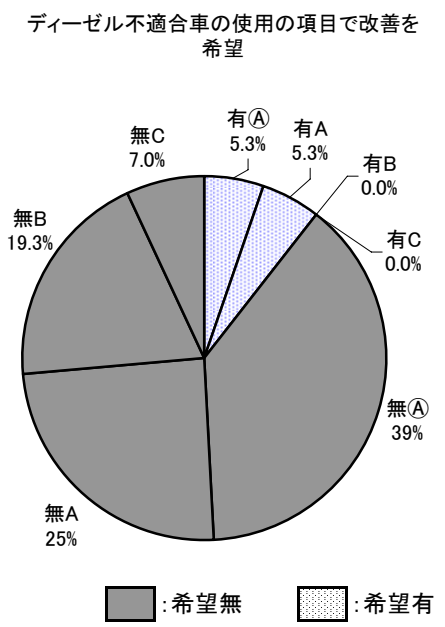
希望率15．8%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
不正軽油の使用の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
不正軽油の使用は、現場で管理出来ない部分があるので除外してほしい	6	3			9

ディーゼル不適合車の使用の項目で改善を希望

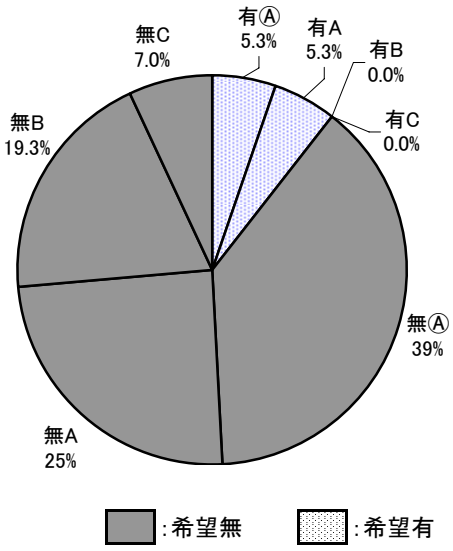
希望率10．5%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
ディーゼル不適合車の使用の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
もっと厳しくとも良い	3	3			6

過積載の項目で改善を希望

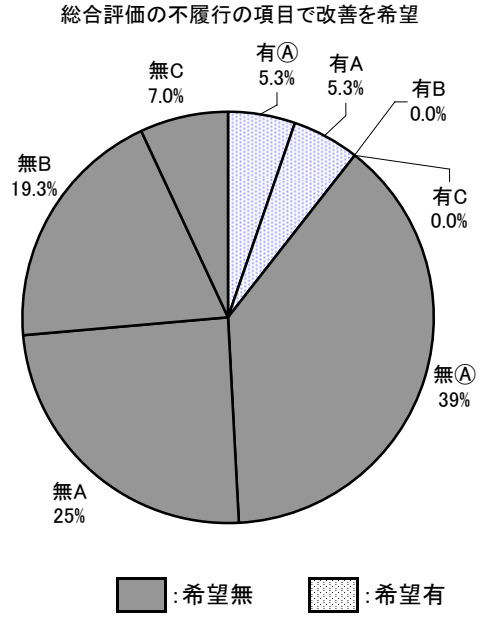
希望率10．5%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
過積載の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
より厳しい配点をする	3	3			6

総合評価の不履行の項目で改善を希望

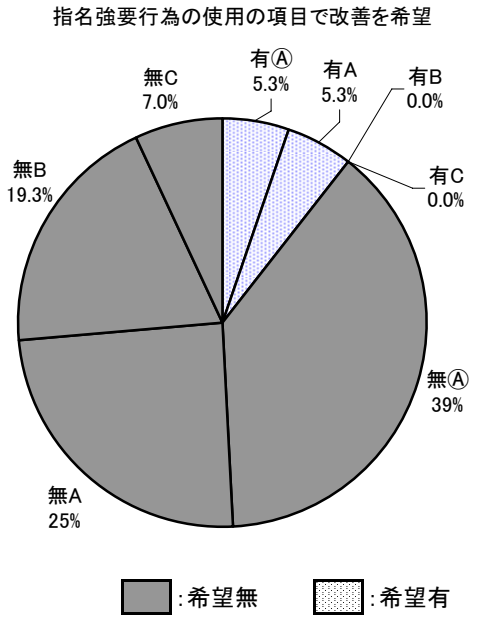
希望率10．5%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
総合評価の不履行の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
現場毎の工事成績評点に減点ならびに不履行に伴う違約金で十分であり、本項目に減点は厳しすぎる	3	3			6

指名強要行為の使用の項目で改善を希望

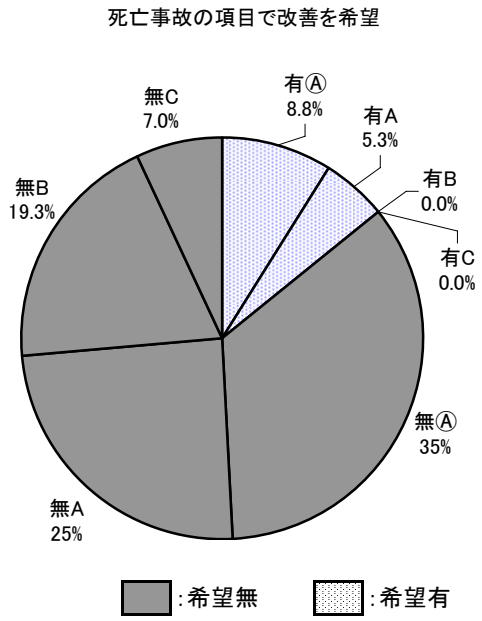
希望率10．5%



(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
指名強要行為の使用の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
より厳しい配点をする	3	3			6

死亡事故の項目で改善を希望

希望率14．0%



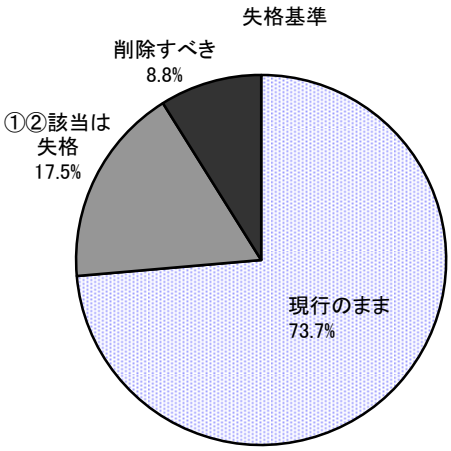
(問-7)企業倫理や信頼性(減点項目)について	企業ランク				
死亡事故の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
死亡事故についての配点(減点)がそのほかの評価と同等で良いのだろうか	5	3			8

(8)ガイドライン以外の項目について

失格基準

現行	①技術評価の加算点が最も高い入札参加者の1／3以下 ②技術評価点の順位が、入札参加者の下位1／3以下 ①②の両方に該当する参加者は「失格」とする

		企業ランク				
		Ⓐ	A	B	C	計
意見	現行のまま	18	11	10	3	42
	①②該当は失格	5	3	1	1	10
	削除すべき	2	3			5



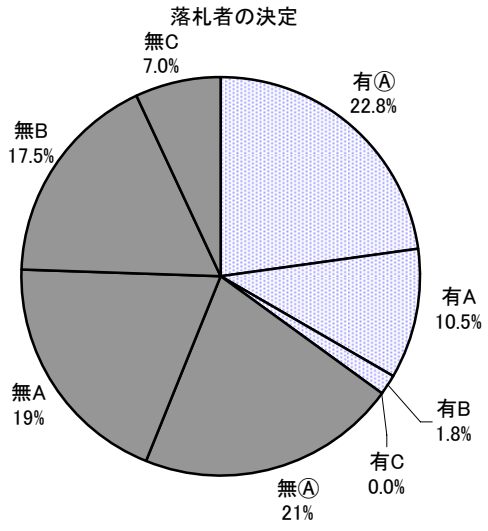
:現行のまま :①②の該当は失格

:削除すべき

(問-8)ガイドライン以外の項目について	企業ランク				
失格基準の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
調査基準価格の廃止し失格とする	2	3			5

落札者の決定

希望率35．1%



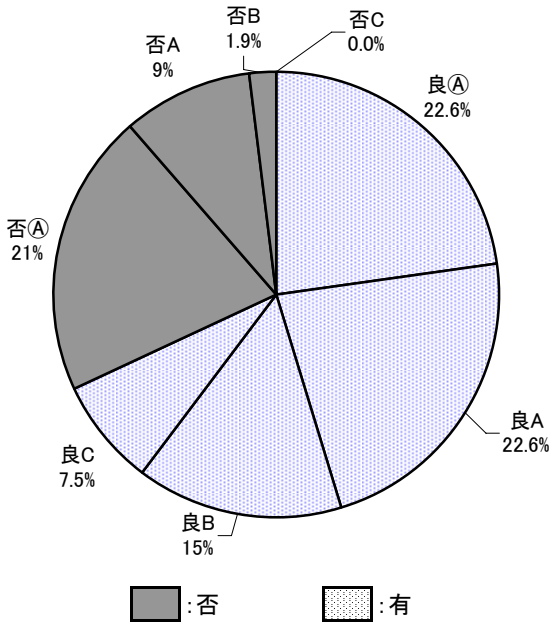
:希望無 :希望有

(問-8)ガイドライン以外の項目について	企業ランク				
落札者の決定の項目で改善を求める内容	Ⓐ	A	B	C	計
調査基準価格の廃止し、失格とする	1	2			3
調査基準価格を下回った場合には、減点対象にする	2	1			2
調査基準価格を下回り評価値または、総合評価点の最も高い会社が2者以上ある時は、入札価格を調査基準とみなし評価を取り止めて入札金額で再度計算して落札者とするのは、ダンピング防止とはならないと思われる	1				1
ダンピング防止対策としての効果をあげるためには、総合評価点をマイナス点とし、調査基準以下の契約をなくす方が良い	1				1
調査基準をし下回った場合には、国交省と同様に施工体制確認の評価点新たに設け落札できないようにする	1				1
ダイレクト入札では、1円でも下回れば失格であり、総合評価ではほとんど契約なっている　調査基準を下回った場合ポイントの計算式が出来ればと思います	1				1
業者が出来る金額で入札しているので、調査をし、確認が出来れば落札者にしていただきたい	1				1
調査基準価格を下回った場合には、評点をマイナスとし、現場代理人と主任(監理)技術者が兼ねられないようにする	1				1
最低価格が必要	1				1

対象実施案件数

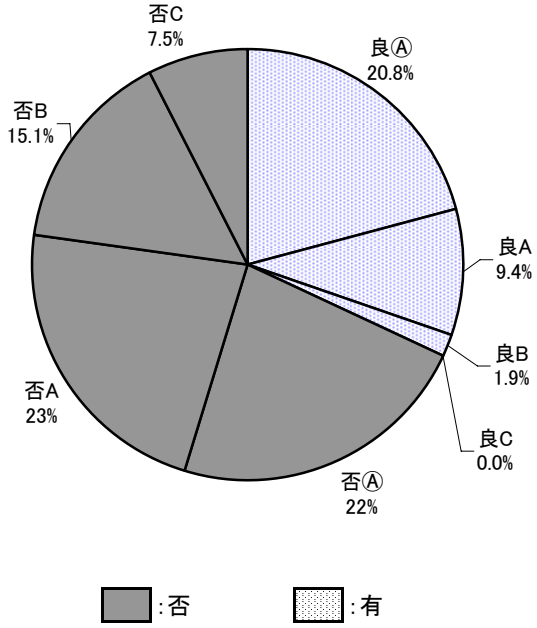
希望率67．9％

現行程度数でよい

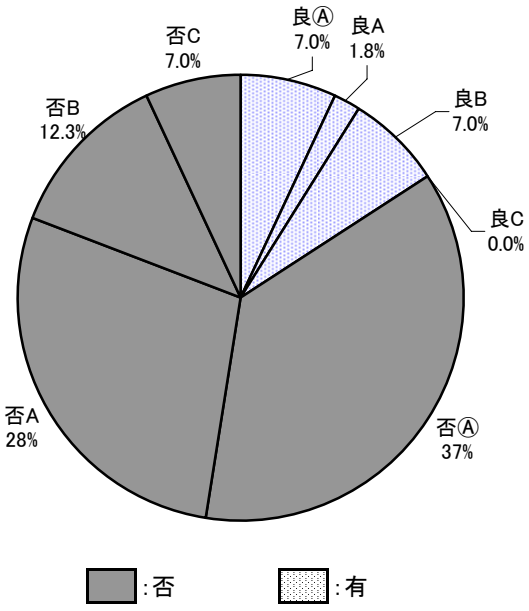


希望率32．1％

もっと増やすべき



5億円以上はすべて実施すべき



現行のガイドライン以外の評価項目について追加、改善などの意見

(問-8)ガイドライン以外の項目について	企業ランク				
現行のガイドライン以外の評価項目について追加、改善などの意見	Ⓐ	A	B	C	計
総合評価の結果について、評価項目ごとの点数を公表してほしい	2	2			4
開札後、落札者の決定までの期間が長い、速やかに結果を公表してほしい	3				3
公告時における対象工事の情報不足(現場説明会を開催してほしい)	1	1			2
調査基準価格ではなく、最低制限価格制度に統一してほしい	2				2
ガイドラインの改訂をする場合は事前公表や執行期間を設けてほしい	2				2
企業の経営内容など経営事前審査を評価項目として取り入れてほしい	2				2
調査基準価格を下回ったら場合は評価点を減点するようにしてほしい	1				1
提出書類の簡素化をお願いしたい	1				1
配置技術者の評価にCPDを取り入れてほしい	1				1
建築工事における施工実績の表現(新築・改築・増改築)が不明確である	1				1
設計金額は全て未公開としてほしい		1			1

土木専門委員会　委員名簿

委 員 長	金冨　正彦	小川工業㈱　総務部長
副委員長	小川　詔夫	伊田テクノス㈱　取締役建設本部土木部部長
副委員長	金久保晴人	㈱斎藤組　工事部長
副委員長	根岸　清志	島田建設工業㈱　執行役員工事本部長
副委員長	五十嵐尚之	関口工業㈱　関東東ブロック工事担当部長
委　　員	渡邊　　徹	㈱ケイワールド日清　土木部副部長
委　　員	山口　哲夫	斉藤建設工業㈱　常務取締役
委　　員	道田　　信	中原建設㈱　取締役工事部長
委　　員	稲葉　雄三	㈱ユーディケー　土木部埼玉西工事事務所所長
委　　員	対馬　寿一	和光建設㈱　土木工事部長　次長
委　　員	番場　秀人	岩田建設㈱　工事管理部長
委　　員	梶山　重忠	梶山工業㈱　専務取締役
委　　員	松井　　稔	㈱河野組　営業部長
委　　員	高萩　　昇	日栄建設㈱　工事課長
委　　員	齋藤　　衛	初雁興業㈱　専務取締役
委　　員	宮崎　　優	㈱宮崎土建工業所　専務取締役
委　　員	金刺　宗雄	㈱島村工業　土木設計積算部部長
委　　員	井上　秀雄	内藤建設工業㈱　工事部長
委　　員	岩瀬　正明	真下建設㈱　施工管理本部土木担当副本部長
委　　員	飯田　　清	田部井建設㈱　執行役員開発営業部長
委　　員	榎本　　修	古郡建設㈱　建設部土木工事長
委　　員	金子　浩行	羽生工業㈱　専務取締役
委　　員	吉田　一平	㈱星野組　工事部次長
委　　員	前田　　護	金杉建設㈱　工事部長
委　　員	宮内富士夫	名倉建設㈱　工事部課長
委　　員	濱瀬　　敦	㈱建設技術研究所　技師長
委　　員	山口　　勝	社団法人埼玉県建設業協会　技術部長

埼玉県建設業協会　会員企業における

「埼玉県の総合評価落札方式」に関する実態調査　報告書

平成 22 年 3 月

社団法人　埼玉県建設業協会
〒336-8515　埼玉県さいたま市南区鹿手袋 4 丁目 1 番 7 号(建産連会館内)
TEL　048-861-5111　　FAX　048-861-5376